

「みかん学校」を核とした関係機関の連携による就農支援

担い手育成

継承

果樹型TF

(トレーニングファーム)

○取組者：えひめ南農業協同組合

○所在地：愛媛県宇和島市

○問合せ先：えひめ南農業協同組合 営農部営農指導課（0895-22-8151）

活用した国の事業（予定等を含む）：サポート体制構築事業（R5）



【取組概要】

・宇和島地域は、かんきつの有数な産地だが、担い手対策が十分に進んでいなかった。
・加えて、**西日本豪雨災害(H30)**を契機に、**高齢農業者の離農や遊休園地も増加が急激に進み**、産地維持に向けた担い手確保が喫緊の課題となっていた。

・JAが、市や県地方局、みかん研究所（県試験場）、農業者等の**関係機関と連携し、研修から就農・定着までを一貫して支援する「みかん学校」**をR6年に開校。
・1～2年の研修期間で、栽培技術から経営までの営農に必要な座学研修と実習を行う。同一講師また関係機関による座学と実習で、理論と実践を一体的に習得できる。（研修生延べ9名（うち6名が就農済み））

・**研修後、研修園地の一部（20a/人程度（実績ベース））を就農園地として「のれん分け」**するとともに、市、農業委員会、農業者等と連携し、**農地（成園）情報や農業機械、選果機、空き倉庫等の情報を収集し、新規就農者に斡旋**している。

【みかん学校の取組概要】

募集・受入（JA・市・県）

○就農相談・募集活動
・県内外の就農フェア等に参加
・JAや市のHP等で募集
○就農体験ツアー
○農業アルバイト（市の宿泊施設（みなみ風）や市体験住宅を活用）

就農研修（JA）

○研修カリキュラムの作成
○研修内容の充実
・県・市・全農等の関係機関、愛媛大学に講師依頼
○研修農場の整備・運営
・園地確保、施設・機械等の整備（各種事業を活用）

新規就農（JA・市・県）

○農地の斡旋（市・農業委員会と連携）
○中古農機具等の斡旋（市）
○機械・施設・倉庫等の整備支援（県・市による情報提供）
○住居確保支援
・市空き家バンク（市）

園地・農業機械・施設・倉庫等の情報収集

★各種補助事業を活用し初期投資を軽減。

国事業：研修用農業機械（自走式チップパー、家庭用選果機、ラジコン草刈機）、就農相談活動の実施
市事業：研修教材や研修園地の整備
農林中金助成：研修拠点施設（旧JAガソリンスタンド）の改修、研修用農業機械の整備

【苦労】

研修費が無料のため、運営財源の確保が課題。

【工夫】

研修園地収益を運営費に活用し、職員人件費はJAが負担。開校前は、JA職員が園地整備・管理・収穫作業を担った。

★みかん学校の研修園地は、**後継者のいない農地等をJAが借り受け、研修園地として管理**。

※取組が知られ、農地提供の声掛けはあるが、優良な園地情報が少なく苦慮。また、空き倉庫の確保が課題。

【今後の展望】

みかん学校を核に、関係機関と連携して研修から就農・定着までを一貫して支援することで、新規就農者を継続的に確保し、遊休園地の継承と産地維持を図る。